



30. 4. 20
統合幕僚監部

(お知らせ)

中国海軍艦艇の動向について

4月20日(金)午前10時半頃、海上自衛隊第13護衛隊所属「さわぎり」(佐世保)、第5護衛隊所属「あきづき」(佐世保)及び第5航空群所属P-3C(那覇)が、与那国島(沖縄県)の南約350kmの海域を東進する中国海軍クズネツォフ級空母「遼寧」1隻、ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦1隻、ルーヤンⅡ級ミサイル駆逐艦3隻、ジャンカイⅡ級フリゲート2隻の計7隻を確認した。

また、同日午前11時頃、同海域でクズネツォフ級空母「遼寧」から複数の艦載戦闘機(推定)が飛行するのを確認した。

防衛省として、太平洋上においてクズネツォフ級空母「遼寧」から艦載戦闘機(推定)が飛行するのを確認したのは、今回が初めてである。

クズネツォフ級空母(16)



平成30年4月20日撮影

ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦(154)



平成30年4月20日撮影

ルーヤンⅡ級ミサイル駆逐艦(150)



平成30年4月20日撮影

ルーヤンⅡ級ミサイル駆逐艦(151)



平成30年4月20日撮影

ルーヤンⅡ級ミサイル駆逐艦(152)



平成30年4月20日撮影

ジャンカイⅡ級フリゲート(538)



平成30年4月20日撮影

ジャンカイⅡ級フリゲート(547)



平成30年4月20日撮影